



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 シークス株式会社

コード番号 7613 URL <http://www.siix.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桔梗 芳人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 大野 精二

TEL 06-6266-6415

四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	56,344	16.8	2,134	88.6	2,146	86.8	1,581	84.7
26年12月期第1四半期	48,257	0.1	1,131	27.9	1,149	39.4	856	136.7

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 1,414百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 18百万円 (△99.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	67.01	—
26年12月期第1四半期	36.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	102,150	42,508	41.4
26年12月期	103,429	41,497	39.9

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 42,327百万円 26年12月期 41,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	18.00	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	220,000	4.9	7,300	17.1	7,400	14.5	4,800	16.2	203.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	25,200,000 株	26年12月期	25,200,000 株
27年12月期1Q	1,600,452 株	26年12月期	1,600,452 株
27年12月期1Q	23,599,548 株	26年12月期1Q	23,599,569 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、雇用者数が増加し、失業率が低下する等、景気は着実に回復しております。ユーロ圏においても、ギリシャ問題は依然不透明なものの、個人消費が緩やかに増加し、景気は持ち直しの動きが続いております。一方アジアでは、消費の伸びがやや低下し、景気の拡大テンポは緩やかになっております。日本経済は、企業収益および雇用情勢の改善もあり、個人消費は底堅く推移し、景気の回復基調が見られます。

このような状況下、当社の当第1四半期連結累計期間の業績は車載関連機器用部材の出荷が好調に推移したこと等により、売上高は563億4千4百万円となり、前年同期に比べて80億8千7百万円の増加(16.8%増)となりました。利益面では製造子会社の業績改善等により、営業利益は21億3千4百万円と前年同期に比べて10億3百万円の増加(88.6%増)となり、経常利益は21億4千6百万円と前年同期に比べて9億9千7百万円の増加(86.8%増)となりました。四半期純利益は15億8千1百万円となり、前年同期に比べて7億2千5百万円の増加(84.7%増)となりました。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。なお、本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。

①電子(日本)

車載関連機器用部材や産業機器用部材等の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は176億8千万円と前年同期に比べて19億6千2百万円の増加(12.5%増)となりました。セグメント利益は6億1千7百万円と前年同期に比べて1億1千5百万円の増加(22.9%増)となりました。

②電子(アジア)

車載関連機器用部材の出荷が増加したことにより、当セグメントの売上高は430億2千2百万円と前年同期に比べて84億1千9百万円の増加(24.3%増)となりました。セグメント利益は14億4千8百万円と前年同期に比べて6億1千3百万円の増加(73.5%増)となりました。

③電子(欧州)

車載関連機器用部材や産業機器用部材等の出荷が堅調に推移しましたが、為替の影響により、当セグメントの売上高は21億1千5百万円と前年同期に比べて1百万円の減少(0.1%減)となりました。利益面では、製造子会社の業績改善等により、セグメント利益は1億2千1百万円と前年同期に比べて7千5百万円の増加(161.3%増)となりました。

④電子(米州)

車載関連機器用部材の出荷が大幅に増加した結果、当セグメントの売上高は86億2千2百万円と前年同期に比べて40億6百万円の増加(86.8%増)となりました。セグメント利益は3億1千9百万円と前年同期に比べて1億7千9百万円の増加(129.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ12億7千9百万円減少し、1,021億5千万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債につきましては、負債合計が前連結会計年度末に比べ22億9千万円減少し、596億4千1百万円となりました。これは主に、買掛金、短期借入金の減少によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ10億1千1百万円増加し、425億8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は39.9%から41.4%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成27年2月13日に公表しております平成27年12月期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の投資その他の資産の「その他」(退職給付に係る資産)が42百万円増加し、退職給付に係る負債が10百万円増加するとともに、利益剰余金が21百万円増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,520	6,184
受取手形及び売掛金	44,516	42,988
商品及び製品	19,340	20,134
仕掛品	1,196	1,086
原材料及び貯蔵品	5,019	5,184
その他	2,722	3,203
貸倒引当金	△459	△463
流動資産合計	78,855	78,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,795	6,683
機械装置及び運搬具（純額）	6,770	6,179
土地	2,617	2,618
その他（純額）	923	1,048
有形固定資産合計	17,107	16,529
無形固定資産	458	444
投資その他の資産		
投資有価証券	3,302	3,315
出資金	1,028	887
その他	3,167	3,148
貸倒引当金	△491	△493
投資その他の資産合計	7,008	6,858
固定資産合計	24,574	23,832
資産合計	103,429	102,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,575	33,152
短期借入金	14,119	12,670
未払法人税等	1,029	1,020
その他	4,674	4,527
流動負債合計	53,398	51,371
固定負債		
長期借入金	4,717	4,629
退職給付に係る負債	344	306
その他	3,471	3,333
固定負債合計	8,533	8,269
負債合計	61,932	59,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	29,638	30,817
自己株式	△677	△677
株主資本合計	32,958	34,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	658	646
繰延ヘッジ損益	△1	9
為替換算調整勘定	7,898	7,736
退職給付に係る調整累計額	△203	△202
その他の包括利益累計額合計	8,352	8,190
少数株主持分	187	181
純資産合計	41,497	42,508
負債純資産合計	103,429	102,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	48,257	56,344
売上原価	45,076	51,754
売上総利益	3,180	4,590
販売費及び一般管理費	2,048	2,455
営業利益	1,131	2,134
営業外収益		
受取利息	17	13
受取配当金	1	3
持分法による投資利益	37	65
不動産賃貸料	22	26
物品売却収入	9	17
スクラップ売却益	18	33
その他	41	48
営業外収益合計	148	209
営業外費用		
支払利息	50	47
為替差損	61	129
物品購入費用	4	0
その他	14	19
営業外費用合計	131	197
経常利益	1,149	2,146
特別利益		
特別損失		
税金等調整前四半期純利益	1,149	2,146
法人税、住民税及び事業税	485	694
法人税等調整額	△180	△123
法人税等合計	304	570
少数株主損益調整前四半期純利益	845	1,576
少数株主損失(△)	△11	△5
四半期純利益	856	1,581

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	845	1,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△11
繰延ヘッジ損益	9	11
為替換算調整勘定	△837	△158
退職給付に係る調整額	—	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	△2
その他の包括利益合計	△826	△161
四半期包括利益	18	1,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38	1,419
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子 (日本)	電子 (アジア)	電子 (欧州)	電子 (米州)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,939	30,700	1,863	2,700	45,203	3,049	48,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,778	3,902	253	1,915	11,849	550	12,399
計	15,717	34,603	2,116	4,615	57,053	3,600	60,653
セグメント利益	502	835	46	139	1,523	21	1,545

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品および商品はワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等であります。

2 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	57,053
「その他」の区分の売上高	3,600
セグメント間取引消去等	△12,396
四半期連結損益計算書の売上高	48,257

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,523
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	△18
全社費用等(注)	△394
四半期連結損益計算書の営業利益	1,131

(注) 全社費用等の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の本社関連の総務部、経理部等管理部門および国内子会社にかかる費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子 (日本)	電子 (アジア)	電子 (欧州)	電子 (米州)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,897	35,910	1,793	5,294	53,895	2,449	56,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,782	7,112	321	3,328	17,545	57	17,603
計	17,680	43,022	2,115	8,622	71,441	2,506	73,947
セグメント利益	617	1,448	121	319	2,507	5	2,513

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品および商品はワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、設備機械および印刷インキ等であります。

2 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	71,441
「その他」の区分の売上高	2,506
セグメント間取引消去等	△17,603
四半期連結損益計算書の売上高	56,344

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,507
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	△4
全社費用等(注)	△374
四半期連結損益計算書の営業利益	2,134

(注) 全社費用等の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社の本社関連の総務部、経理部等管理部門および国内子会社にかかる費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。